

第4学年 単元名「クラスみんなで決めるには」

学習の内容

●話し合いの進め方や役割について理解する。

・司会、記録、時間、参加者のそれぞれの役割ですべきことをモデル動画やシナリオを参考にしながら理解を深める。

●少人数グループで身近な話題について話し合う。

・多数決でない決め方として、互いの相違点や共通点に基づいて話し合い、1つの意見にまとめるようにする。

・話し合いグループと観察グループに分かれて話し合う。話し合いの様子を観察することで、それぞれの役割の働きを確かめ、自分の話し合いに生かせるようにする。



小グループでの話し合い



自分のめあてに対するふり返り

【めあて】

自分の役割を意識しながら話し合おう。

【話し合いの進め方】

- 1、議題を確かめる。
- 2、意見を出し合う。
- 3、どうやって決めるかを考える。
- 4、どれにするかを考える。
- 5、まとめる。

お互いのグループを観察し合う。

相手意識・目的意識の明確化

話し合いの議題に必然性を持たせることで、子ども達の話し合いへの意欲を高めるように心がけた。谷戸山探検に向かう前の2年生とのなかよし集会でレクの内容を決める話し合いを行った。具体的にイメージしながら話し合うことで、充実した話し合いになった。実際に話し合いで決めたレクをなかよし集会で行ったことにより、子ども達に話し合いの有用性を実感させることができたと感じた。

自信をもって表現できるようにするための工夫

ワークシートを活用しながら、自分の意見を理由とともにまとめる時間をしっかり取り、話し合いの準備をした。また、話し合いのモデル動画を見ることで、それぞれの役割の理解を深めることができた。司会、記録、時間を担当する司会グループは、集まって話し合いの流れの確認をする打ち合わせを行い、連携を取りながら進められるようにした。小グループから話し合いの練習をすることで、クラス全体の話し合いも上達した。

振り返りと学習評価の充実

1枚のワークシートに自分の役割に合わせためあてとふり返りを書かせるようにした。話し合いの観察をする機会を設けたことで、自分の話し合いをより良くするための気づきを増やすよう心がけた。子ども達のワークシートから評価を見取ってはできたが、話し合いの様子から、どのように学び取って変化したかを評価することに難しさがあると改めて実感した。